

書き出しの工夫

はっけよい、のこった  
まるで

どうだい

なんと

けれども

もんどりうって



効果

ひきつける  
会話文みたいで分かりやすい  
おおげさ  
主張する

文末表現の工夫

今度は君たちが考える番だ。

蛙がー。

〜としか思えない

〜みよう。

〜かな

なんだろう

〜に違いない

〜ことがわかるね。

しっかりと

ぱっとページをめくっていきな



効果

強調している  
いんしょう  
引き込む  
問いかけてくる

構成の工夫（絵の出し方）

一部分

一部分

全体



効果

続きが読みたくなる

その他の工夫



効果

区切りをはっきりしている



<p>筆者の考え方に共感するところ・その理由</p> <p>筆者と考え方が違うところ・その理由</p> <p>疑問や分からない言葉</p>	<p>1</p> <p>物語だということは知っていたけど、時の流れまでもが表現されているとは想像できませんでした。</p> <p>昔の絵巻物は奥が深いものが多いと思うので、ほかにもいろいろなものを読んでみたい。</p>	<p>2</p> <p>絵巻物なのに動物の動きや表情が表現できていてすごいなと思いました</p>	<p>3</p> <p>巻物で白黒なのに動物の表情、などが表現されていて驚きました。</p>	<p>4</p> <p>ぼくとおなじかがえだた。</p>	<p>5</p> <p>私は相撲がただの遊びだということになるほどと思い、共感しました。一本の線でここまでこまかく描かれていてすごいと思いました。(〇〇)</p> <p>カエルの口から出ているものは気合の声にも見えるけど、ウサギの耳を噛んでいたぐらいだから勝ったー！っていう感じのため息にも見えました(〇〇)</p>	<p>6</p> <p>「『鳥獣戯画』を読んで」でかなり共感するところがあった。例えば、教科書に載っている、<b>●と▲が相撲をしているところ</b>で、友達と遊んでいるところと似ていると思った。</p>
<p>7</p> <p>私は、昔の巻物は白黒でも表情や動きが表現できててすごいと思いました。(〇〇)</p>	<p>8</p> <p>絵巻物なのに、動物たちの心情が読み取れるようにしているのがすごいと思った。 〇〇〇〇</p>	<p>9</p> <p>この応援するカエルたちの喜びがちゃんと表現されてて本当にすごいと思う</p>	<p>10</p> <p>ウサギのそれはないでしょというシーンのウサギがとても人間のように見えました。 一がつ場面を見て次の場面を見たら時間が過ぎて相撲の結果分かりそれがとても面白かったです。</p>	<p>11</p> <p>カエルやウサギの表情や動きが細かく表現されている。</p>	<p>12</p> <p>とても昔に作られたのに絵がとってもきれいで見やすくてまたカエルやウサギ、ネコ、キツネなどがとってもリアルですごいと思いました。  〇〇〇〇</p>	<p>13</p> <p>筆の太さや濃さ、などで動物の特徴が表せていたり感情が読み取れるように描かれているのがすごいな。と思いました。</p> <p>な。と思いました。又、表情や動きだけで、お話を推測できるように描かれているのがすごいと思いました。</p>
<p>14</p> <p>ちょっとしたところの、表現が細かいと思った。</p>	<p>15</p> <p>そんなに前に、アニメみたいな絵巻物が作れるなんてすごいと思った 〇〇〇〇</p> <p>ウサギが噛まれた耳が痛そうです、耳が取れないといいです。カエルの口から出たのは、ウサギの耳をかんだ時に出た血と、息と、唾と、げろだと思えます。 カエルとウサギが、お相撲をしていたのわ、ジャンプする動物どうしだからと、思います。 「鳥獣戯画」から、漫画などがきて、家には、結界師などの、漫画が、たくさんあります。なので、「鳥獣戯画」は、すごいと思えます。 〇〇〇〇</p>	<p>16</p> <p>確かに、やっていることは人間みたい。でも、見た目は細かいところまで動物だから、どのようにとらえればいいのか分からなくなる。色は、「白と黒」なのに、フルカラーみたい。確かに、「これがアニメ「鳥獣戯画」はどのような時間、をかけて書かれたのか。誰の手に渡ったのか。(〇〇〇〇)</p> <p>私は「鳥獣戯画」を聞いていて共感した事や確かに！なるほどと思ったことがあります。 それは昭和時代に紙芝居・漫画が多いに楽しまれています。と書いてあって確かに！と思いました。 私のママは漫画が大好きで家に数えられないくらいあります。私も漫画はまっています。子供でも大人でも楽しめる漫画・紙芝居は今でも楽しまれているという事に確かに！と共感しました。(〇〇〇〇)</p>	<p>18</p> <p>八百五十年も昔から漫画のような絵を描いていたことに驚いています。漫画には文字が書いているけどこれは絵だけでとても豊かに表現できていてすごいと思う。〇〇</p> <p>昔の人はどういうきっかけでこの絵に価値を置いたのか知りたい。 世界を見渡してもこれほど自由闊達な絵はないと書いているけどそれは人の感じ方によって違うと思う。</p>	<p>18</p> <p>八百五十年前から漫画のようなものがあるのがびっくり。 変転や火災の時も救い出しているところがすごいです。</p>	<p>カエルの口から血 みたいのが出てる</p> <p>(-ω-;) ウーン Σ(┌─┐   )ガーン</p>	<p>20</p> <p>鳥獣戯画は初めて読みました。絵だけで感情や場面を表現できるなんてすごいなあ、と思いました。〇〇</p>
<p>21</p>	<p>21</p>	<p>24</p> <p>ただの絵がかいてある「絵巻物」かと思っていたけれど、とても動きがあって、漫画みたいなお話になっているなんて、思いつかなくて、なるほど～と思いました。 (〇〇〇〇)</p>	<p>25</p>	<p>25</p>	<p>26</p> <p>動物がまるで人間にみえてすごいと思った</p>	<p>26</p>



書き出しの工夫

はっけよい、のこった

どうだい

おっと

いったいこれはなんだろう



効果

興味をひく

登場している動物の心情を書いている。

文末表現の工夫

くにちがいない。

今度はきみたちが考える番だ。

ページをめくってごらん。

なのだ。

ひるんだところを蛙がー。



効果

その文を強調している

自分の意見を確立している。

読者に話しかけているように、書いている。

棒線の部分で次の出来事を想像させる。

構成の工夫（絵の出し方）

部分

部分

全体



効果

内容に期待させる

気にさせる

ひきつける

その他の工夫

すかさずや気品など他にも似たような意味がある言葉をあえてすかさずや、気品などにしてている。

登場してくる動物にも役回りがあるなど鳥獣戯画のことについて細かく説明されている。

問いかけ文を使っている



効果

鳥獣戯画の雰囲気が出る。

語るように書いてあった方が、絵の中の蛙や兔の感情を考えやすい。

鳥獣戯画を読んでいない人などにもわかりやすい。筆者に見えることが細かく知れることで自分なりの考えも見えてくる。

書き出しの工夫  
はっけよい、のこった

どじだ

文末表現の工夫

くしが思えない

蛙がー。

構成の工夫（絵の出し方）

部分 ← 部分 ← 全体

その他の工夫

今度は君たちが考える番だ

試しにはっとページをめくっていきな

効果

読み  
たくなる  
読みたくさせる  
興味をもたせる

説得させる  
共感させる  
納得させる

効果

強調  
印象

読み手に次の展開  
を想像させる


効果

気にさせる  
ひきつける


効果

さらに興味  
を持たせる  
どうなるの  
かなと想像  
させる



						絵			
		全体	部分		全体	全体	部分	書いている場所	
⑨、十二世紀といふ大昔に、まるで漫画やアニメのような…	⑧この絵巻がつくられたのは、今からざっと八百五十年ほど前…	⑦の絵巻の絵は、くり広げると時間が…、右から左へ…	⑥もんどりうって転がった兔の、背中や右足の線。	⑤もう少しくわしく絵を見てみよう。	④どうだい、蛙が兔を投げ飛ばしたように…	③この絵は、『鳥獣人物戯画』甲巻…	②墨一色、抑揚のある緑と濃淡だけ…	①はっけよい、のこった。	形式段落と教材文の書き出し
絵巻物としての『鳥獣戯画』		場面全体 絵巻物の説明とつながり	筆さばぎで表現したこと	絵から読み取れるカエルの様子	二枚の絵 お話の動き方、転換	一場面 かえるとウサギの大きさ、	蛙の足 兔の耳	筆者の着目部分	
こんなに楽しく飛び切りモダンななんと素敵驚く何物にもとらわれない自由な心これほど自由闊達人類の宝自然でのびのびしている	とびきりすぐれた生き生きと語っている絵の力大いに楽しませてきた	実に素晴らしい	絵が止まっていない筆さばぎたいしたものだ和気あいあい	気合いがこもっているこんな昔からやっているまるで漫画の吹き出し	動きを生み出したり場面をうまく転換してるアニメの祖もある	すごく上手それだけではない漫画の祖面白い	のびのびとした見事なこんなに正確に気品まるで-みたいに	なんと	評価を表す言葉



		全体		部分		全体		全体		部分		書いている場所	
		<p>⑧この絵巻が、つくりだされたのは、今からざっと八百五十年ほど前です。</p>		<p>④どうだい、蛙が兎を投げ飛ばしたように…</p>		<p>⑤もう少しわしく絵を見てみよう。</p>		<p>③この絵は、『鳥獣人物戯画』甲巻…</p>		<p>①はっけよい、のこった。</p>		形式段落と教材文の書き出し	
<p>⑨十二世紀という大昔に、まるで漫画やアニメのような…</p>		<p>⑦この絵巻の絵は、くり広げると時間が…、右から左へ…</p>		<p>⑥もんどりうって転がった兎の、背中や右足の線。</p>		<p>二枚の絵 蛙 兎</p>		<p>一場面 蛙 兎</p>		<p>耳の先 またら 模様 背中 骨格 手足 毛並み</p>		筆者の着目部分	
<p>絵巻物としての『鳥獣戯画』</p>		<p>場面全体 蛙 兎 蛙 蛙 兎の足元</p>		<p>兎 背 中 右足 目 口</p>		<p>蛙の口</p>		<p>蛙 兎</p>		<p>蛙の足 兎の足 兎の耳 蛙</p>		評価を表す言葉	
<p>すてきなびのび自由な心これほど自由闊達こんなに楽しく人類の宝</p>		<p>上手な生き生きと大いにとびきりすぐれただけでなく大きなほかにもいくつも</p>		<p>見事にそれを表現している 絵に勢いがある、絵が止まっていない 動きがある はっきりと 大したものだ</p>		<p>気が付いたかな だけでなく こんな昔から そう</p>		<p>わかりやすいように 上手く転換したり アニメの祖</p>		<p>一場面を見ただけでもわかる おかしくて、おもしろい すごく上手 それだけではない</p>		<p>なんと のびのびとした 気品 見事な こんなに 正確に まるで～みたい な ～だと思えない</p>	





		全体	部分		全体	全体	部分		書いている場所
⑩ に、十二世紀とい う大昔 の、まるで漫画やア ニ メのような…	⑧ この絵巻がつくら れたのは、今からざ っと 八百五十年ほど前…	⑦ の絵巻の絵は、くり ひろ げるとつれて、右から 左へと時間が…	⑥ もんどりうって転 がった兔の、背中や右 足の線。	⑤ もう少しくわしく絵 を見てみよう。	④ どうだい、蛙が兔を 投げ飛ばしたように…	③ この絵は、『鳥獣人 物戯画』甲巻…	② 墨一色、抑揚のある 緑と濃淡だけ…	① はっけよい、のこっ た。	形式段落と教材文 の書き出し
絵巻物としての 『鳥獣戯画』		場面全体	背中や右足の線	目と口の描き方 カエルの口から の線	二枚の絵	一場面	耳の先 骨格、手足、 まだら模様 毛並み	兔の足 兔の耳 蛙	筆者の 着目部分
	だけではない とびきり 生き生きと語っている	わかるだろう  実に素晴らしい	見事に ほんのちょっとした たいしたものだ  はっきりとわかる	こんな昔から そう	上手く転換し たりして 分かりやすいように  アニメの祖	おもしろい おかしくて すごく上手  たしかに	のびのびとした 気品 見事な こんなに 正確に まるで～みたいな ～だと思えない	なんと おっと	評価を表す言葉



鳥獣戯画の絵（切り取る）



絵から気付いたこと（ふせん）

- サルの様子が落ち着いている
- サルがおしゃか様のようなポーズをしている
- サルだけが服を着ている
- ウサギがせっせと食べ物を運んでいる
- サルが薄い
- 左から右にいくにつれて、筆が薄くなっている？
- サルの前に米俵？のようなものがある
- うさぎもふんどしのようなものをまいている

サルの前にいろいろなお供え物があることから、サルはウサギたちにとっておしゃか様や神様のような存在？

他にもお供え物のようなものがあるので、ウサギ以外にもこのサルを神くらの存在だと思っている生き物がある

うさぎが運んでいるのはスイカ？

前後の写真を見て↓

同じサルでも、階級が違うサルがいる  
サルよりも偉そうな蛙がいる

ミニ解説文（縦書き）

この絵でまず着目したいのは、筆遣いだ。左は少し濃いのだが、サルの近くになるにつれて、だんだんと薄くなっていくことに気づいただろうか？これは、サルの神々しさを表している。

ここでは、豪華な服を着たサルがうさぎにスイカのようなお供え物をされている。この時代にスイカはないだろうか？と思う人もいるかもしれない。だが、この時代にはあまり出回っていない貴重なスイカを与えるほどの存在だということを表しているのではないだろうか？スイカ以外にも、目の前に様々なお供え物があることから、サルはうさぎや、ここには映っていないが、蛙たちからお釈迦様のような存在と認識されているということがわかる。それに、サルはお釈迦様のようなポーズをしていて、ウサギはそのことをおかしく思っていないということが証拠になるだろう。

次に着目してほしいのが、サルとうさぎの表情だ。サルは目を閉じて、落ち着いている様子だというのは裏腹に、うさぎは目を大きく見開いて、足をまげてお供え物を運んでいる。このことからサルのほうが立場が高く、信仰される存在ということがわかるのだ。

全体を見ても、部分的に見てもサルが高い存在ということが一目瞭然なのがこの絵の素晴らしいところだ。細かい筆遣いや、繊細な表情やポーズを白と黒の二つで表しているこの絵は、誰もが国宝であることを納得できるだろう。





絵から気付いたこと（ふせん）

ウサギがサルの背中に水をかけている

ウサギとサルが泳いでいる

ウサギとサルたちが水遊びなどをしているように想像しました

サルとウサギが座っているサルの汚れを取っていると想像しました

ウサギが馬に水をあたえている

ウサギが馬に「お水をどうぞ」馬が「ありがとう」

ウサギ「おーい、サルよー。一緒に遊ばないかい？」  
 サル「いいよー」

ミニ解説文（縦書き）

この絵を見て最初にわかることが、真ん中の岩の上にいる、ウサギ一匹とサル二匹がいるところだ。うさぎはひしゃくのようなものでサルの背中に水をかけている。サルは、もう一匹のサルに背中をこすってあげている。その左下に馬一匹とウサギ二匹がいる。ウサギは馬に水を飲ませているように見える。もう一匹のウサギは、馬の背中をなでているように見える。

それに、川の右下にウサギとサルたちが、楽しく遊んでいる。私は遊んでいるウサギとサルを見てこう思った。ウサギが「おーい、サルよー」一緒に遊ばないかい」「そしたらサルが、「お！いいぜ」と言っているように感じた。そう、きっとこの場面はウサギやサルなどが汚れを落としたり水を飲みに来たり水遊びなどをしたりする、動物たちの、いわゆる遊び場なのだと思う。



鳥獣戯画の絵（切り取る）



絵から気付いたこと（ふせん）

カエルが寝転がってる

ウサギが釣り竿のようなものを持っている

カエルとウサギがサルを追いかけている。

カエルが松明？みたいなものを持っている

狐が様子をうかがっている

カエルとサルは喧嘩してそのかたぎ討ちを別のカエルやウサギなどがサルを追いかけている

ミニ解説文（縦書き）

白黒でもわかる表情、ほぼ正確に書かれている動物、ついさっきまで動いてたと思えないこの絵、まず最初に着目したのはカエルがひっくり返っていることだ。いったいどのようなことが起きたのだろうか。

周りのウサギやカエルがいかに心配している表情や、逃げていくサル、それを追いかけるカエルやウサギがいる。そのことからぎっとこれは喧嘩が起きたのだろう。

次に着目したのが追いかけているカエルや、ウサギの姿だ。特にこの指をさしているカエルのもようや姿がほぼ正確に書かれていることだ。まさにこれが鳥獣戯画のすごいところである。だからこそ鳥獣戯画は誰もが認める人類の宝なのである。



## 「この絵、私はこう見る」解説文 ルーブリック

文章の工夫（表現・構成）	内容（自分の考え）
A 読み手が読みたくなるように、 <b>興味をひいたり、想像させたり</b> する工夫をしている。	絵の中から <b>着目する部</b> 分をはっきりさせて、 <b>自分が読み取ったこと・感じたこと</b> を、絵を評価する言葉に表している。
B <b>言葉の宝箱</b> や <b>モデル文</b> を参考にして、 <b>会話文</b> を入れたり、 <b>文末</b> や <b>書き出し</b> の表現を工夫したりして、書いている。	<b>見る場所</b> や <b>見る方法</b> の言葉を使って、絵から読み取ったことを、 <b>ほめる言葉・良さを引き出す言葉</b> に表している。
C 読みやすくする工夫をしていない。	絵をほめる言葉を書いていない。



この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】

エドヴァルド・ムンク「叫び」



解説文

「どっぴんってーいるんだああああああああああ……」  
この絵を見ているとだんだんと男の叫びが頭に木霊する。男はなぜ叫んでいるのだ？きっとこの約変してしまった「世界」に対してだろう。この「世界」は見ているだけで吸い込まれてしまい、そんな独特の世界観を醸し出している。

「ここで一つ気がかりなことがある。君たちも「あれ？」と思っただのではないだろうか。それは、左上の二人組に対してだ。この約変した「世界」を前にして平然と歩いている。こんなことはありえるのだろうか。いや、この二人組がもし天性のサイコパスであったとしてもこれはありえないだろう。そう。君たちも気が付いているかもしれないが、この「世界」は僕たちが存在する世界ではなく、この男に見えている世界なのだ。

では、なぜ男の世界は普通じゃないのだろうか。男が薬物中毒者だから？それとも強く頭を打ったからだろうか？そんな簡単なことじゃない。もっと、この絵にピタッとハマるようなことなのだ。この世界は、この男の苦しみを現実に具現化したものだ。少しだけ話が変わるが、この絵の真ん中の男は、この作者、エドヴァルド・ムンクなのだ。この絵は、ムンクの幻覚に基づいて描いている。この絵は、ムンクの苦しみを絵にしているのだ。きっとこの苦しみは、簡単に想像で描けるものじゃない。残酷で、悲しくて、でもどこか美しいこの苦しみは、きっとレオナルドダヴィンチにも描けない。そんな絶望がこの絵にはある。では、どうしてエドヴァルド・ムンクにはこれが描けたのだろうか。その理由は彼の人生にある。幼少期に母を亡くし、14歳の時に母代わりの姉をなくし、父が熱狂的なキリスト教信者になり、ムンクたちを叱るときはひどいくらいに激しかった。このころから、ムンクは本当の絶望を知っていた。だからこそこの絵が描けたのだ。そう。この絵は、ムンクの絶望の象徴ともいえるのだ。



この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】



作者・葛飾北斎

解説文

「がやがや」、人が橋の上を歩き来している。川では人に乗せて船が次々とやってくる。ここはある町の一角。とても多い民衆や、大量の船が、にぎやかな街を物語っている。

この絵は、日本の画家、葛飾北斎が江戸時代に描いた「撰洲天満橋」である。この絵には沢山人対が描かれている。何人いるか君たちはかぞえられるかな？

さて、この絵はどこか今の日本に似ている気がする。それは、人が戯れ、人が何回も行き来するにぎやかな風景だ。例えば日本橋では、たくさんの人や、車が通っている。このことを踏まえると、昔の日本と、今の日本は文化が文化が似ているといえるだろう。

この絵は、まさに今の日本を示しているだろう。



この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】



作者：ゴッホ

作品名：タンギー爺さん

解説文

この絵をよく見てみよう。タンギー爺さんの後ろに日本の浮世絵があるだろう。これはゴッホが浮世に影響を受けたからなのだ。後ろの浮世絵は、歴史にもよく出てくる歌川広重の作品だ。

次はこの絵の主人公タンギー爺さんについて説明しよう。タンギー爺さんとは貧しい画家を支援する画材屋さんだったそう。ゴッホも支援してもらっていた一人なのだ。これらから考えるとタンギー爺さんはゴッホにとってとても大切な人だったのだろう。なぜなら浮世絵はゴッホがとても影響を受けてた作品だ、そんな浮世絵を背景にタンギー爺さんの肖像画を描くのはゴッホがとてタンギー爺さんを大切にしていたからと考えることができるからだ。

タンギー爺さんのことをよく見てみるとなにか微笑んでいるように見える。それはタンギー爺さんはゴッホに日本の素晴らしい浮世絵と一緒に並べて肖像画を描いてくれたのがとてもうれしかったからだろう。私には、ゴッホに微笑んでいるように見える。

また、さらに深く考えてみよう。ゴッホは当時絵が全く売れず、そのうえ厄介者扱いされていたそう。そんなゴッホを支援していたタンギー爺さんはゴッホの才能を見抜いていたのだろう。こうやって、今ゴッホの絵が博物館に大切に保管されているように。



この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】



レオナルドダヴィンチ モナリザ

解説

「んんん」

と「見笑いかけているように見える。」

奥の景色には山や海のようなものが見える。中心の女性に少しににやけている。何を考えているのだろうか。

この絵は、レオナルドダヴィンチが1503年に書き始めた「モナリザ」だ。モナリザに関してはいくつもの謎がある。例えばこの絵のモデルになった人はこれまで複数上がった。もともとはダヴィンチ本人の絵と言われたり、モデルは男だといわれたりと謎だらけの絵だ。

中心の女性に注目しよう。女性は直立に斜めをむぎ独特な距離感で描かれている。さらに、奥の景色は輪郭がはっきりしてあらず、意味深にぼかされている。このように絵に描かれていることにひきつけられるのも「モナリザ」の魅力だといえるだろう。

レオナルドダヴィンチは「モナリザ」のほかにも数々の絵を描いている。この「モナリザ」はレオナルドダヴィンチの美術の技術を含めてダヴィンチの代表作といえるだろう。

この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】



ピエール=オーギュスト・ルノワール

イレヌ・カーン・ダンヴェール嬢の肖像

解説文

この写真でまず着目してほしいところは右の方の草の筆使いだ。左の方はとてもはっきり書かれているのに右は少しぼやけている。このことから、ここはどこかしらの庭で左の方から太陽、または、電気の光が当たっていると思った。

次に着目してほしいところは彼女の髪の毛のむきだ。この絵を見ると、彼女の髪は右から左へとなびいているように見える。また、彼女は長そでを着ているしかもふわっと長い髪をおろしている。これらのことから、今は少し肌寒い季節で、庭のようなところに座りながら、日向ぼっこをしていると感じられた。

君はどう思うだろうか。

だがここにはもう一つ疑問に思うことがある。それは彼女の表情とその位置だ。彼女はとても切なそうだが、微笑んでいるようにも見える顔をしている。いったい何を考えているのだろうか。何かを見ているかもしれない。にらんでいるのか……また彼女は庭のはじっこの方に座っている。表情と合わせるとやはり少し寂しげに見えるだろう。君はどう考えるだろうか。

最後に、もう気づいていたと思うが彼女の頭に注目してほしい。何か魚のようなものがついているだろう。素敵な青い色をしている。とても彼女に似合っている。きっとお気に入りなのだろう。

この絵を見てたかさんのことが思い浮かべられた。ほかにもルノワールさんは、たかさんの人の絵を描いている。この絵を見ると、ルノワールの独特の世界観にだんだんと吸い込まれてしまう。ほかの絵も見てみたくなってしまう。



この絵、私はこう見る

名前 ○○○○

【自分が選んだ絵】

真珠の耳飾りの少女



解説文

「……………」

この絵を見た私の第一印象は少女の暗い表情だ。まるで「こつちを見ているように見える、この少女は何を考えているのだろうか。君はこの少女の表情を見て何を感ずるだろう。」

私は背景が真っ黒に塗られているから悲しい事など複雑な気持ちがあつてこれからの事など考えていると感ずる。そしてこの少女は「いたい」と見えているのだろう。不思議で仕方がない。しかも、背景には何も描かれていない。とてもシンプルな絵だ。

この「フェルメール」の作品は疑問点が30数以上もあるそうだ。

「フェルメール」は元々モデルをやっていたそうだ。モデルが辛く、辞めたいらしい。

モデルを辞め自分の過去を思い出して少し暗い表情をしているとも私には感ずられる。

このように君もきっと何かを感じられる事があるだろう。

私はこの作品に色々な疑問点がたくさんある。

まず、光の当たり方に着目して見て見よう。少女の顔に光が当たっている。全体的に暗い印象があるけれど、顔のあたりが明るく、もともとの暗い印象を少し明るくしてくれている。

様々な見方によつた自分なりの考えが出てくるのではないだろうか。